

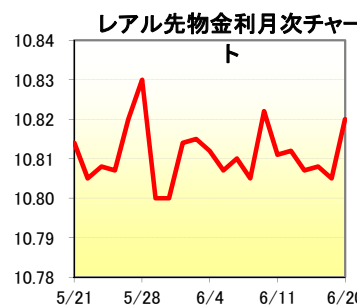
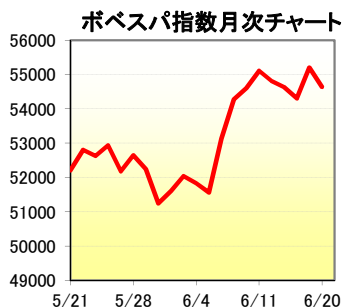
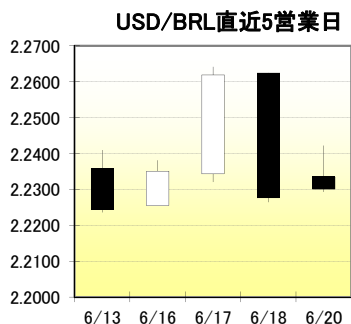
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

|       |               |             | 6月13日   | 6月16日   | 6月17日   | 6月18日   | 6月20日   | Net Chg |
|-------|---------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| Forex | USD/BRL       | Spot        | 2.2240  | 2.2350  | 2.2540  | 2.2280  | 2.2300  | +0.0020 |
|       | USD/YEN       | Spot        | 102.04  | 101.84  | 102.18  | 101.91  | 102.08  | +0.1700 |
|       | EUR/USD       | Spot        | 1.3547  | 1.3573  | 1.3544  | 1.3591  | 1.3600  | +0.0009 |
|       | BRL/YEN       | Spot        | 45.88   | 45.57   | 445.33  | 45.75   | 45.78   | +0.0300 |
| Swap  | Dollar Clean  | 6MTH(p.a.)  | 0.87    | 0.91    | 0.95    | 0.94    | 0.95    | +0.0160 |
|       |               | 1Year(p.a.) | 1.10    | 1.16    | 1.17    | 1.18    | 1.21    | +0.0250 |
|       | Real Interest | 6MTH(p.a.)  | 10.79   | 10.81   | 10.79   | 10.76   | 10.77   | +0.0100 |
|       |               | 1Year(p.a.) | 10.92   | 10.96   | 10.97   | 10.92   | 10.94   | +0.0184 |
| Stock | Bovespa       |             | 54,807  | 54,630  | 54,189  | 55,203  | 54,638  | -564.35 |
| Bond  | CDS Brazil 5y |             | 140.67  | 136.00  | 136.00  | 137.00  | 142.00  | +5.0000 |
|       | Global 40     |             | 112.150 | 112.100 | 112.050 | 111.950 | 111.950 | u.c.    |

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 |    |
|------|----|----|----|----|
| なし   |    |    |    | なし |

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は週間高値となる  $US\$1=R\$2.2260$  で寄り付いた。
- 中東情勢が悪化したことやウクライナ情勢が緊迫化したことを背景に、週初からリスク資産売りが優勢となる中リアルはジリジリと売られる展開となった。更にワールドカップのブラジル戦で金融市場が短縮取引となり流動性が落ちる中、米国で発表されたインフレ指標が予想より強かったことを受けて、利上げ期待からドル買いが強まると、リアルは一日で約 1.5% 急落し週間安値となる  $US\$1=R\$2.2640$  を示現した。
- しかし、週中には FOMC 後の FRB 議長の記者会見でハト派色の強いトーンが示されたことを受けて、利上げ観測の後退からドルが全面安の展開となった。リアルは 2.26 台から 2.22 台まで急反発した。
- ブラジルの祝日を挟み、週末にかけては動意に乏しい展開となった。特段の材料が無い中、実需のリアル売りや短期筋の利食いでリアルは 2.24 台まで反落する場面も見られたが、引けにかけては祝日明けの水準まで値を戻し、結局  $US\$1=R\$2.2300$  で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

| 日付    | イベント                  | 期間     | 予想       | 前回       |
|-------|-----------------------|--------|----------|----------|
| 6/23  | FGV CPI IPC-S         | Jun-22 | 0.31%    | 0.36%    |
| 6/24  | 経常収支                  | May    | -\$6850M | -\$8291M |
| 6/24  | 対内直接投資                | May    | \$5400M  | \$5233M  |
| 6/24  | 貿易収支(週次)              | Jun-22 | --       | \$837M   |
| 6/25  | FGV建設コスト(前月比)         | Jun    | --       | 1.37%    |
| 6/25  | ローン残高(前月比)            | May    | --       | 0.60%    |
| 6/25  | 融資残高                  | May    | --       | 2777B    |
| 6/25  | 個人ローンデフォルト率           | May    | --       | 6.50%    |
| 6/25  | Private Banks Lending | May    | --       | 1328B    |
| 6/26  | FIPE CPI-週次           | Jun-22 | --       | 0.16%    |
| 6/26  | FGV消費者信頼感             | Jun    | --       | 102.8    |
| 6/26  | 失業率                   | May    | 5.00%    | 4.90%    |
| 6/27  | FGVインフIGPM(前月比)       | Jun    | -0.56%   | -0.13%   |
| 6/27  | FGVインフIGPM(前年比)       | Jun    | 6.47%    | 7.84%    |
| 6/27  | PPI 製造業(前月比)          | May    | --       | -0.38%   |
| 6/27  | PPI 製造業(前年比)          | May    | --       | 7.14%    |
| 6/27  | 中央政府財政収支              | May    | --       | 16.6B    |
| 6/27  | Federal Debt Total    | May    | --       | 2052B    |
| ~6/27 | 税収                    | May    | 90100M   | 105884M  |
| ~6/27 | 登録雇用創出合計              | May    | 95000    | 105384   |

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.21-2.26

引き続きワールドカップ開催期間中で流動性が薄い状況が予想される。来週は月曜日からブラジル戦があり、金融市場は時短取引となることが決まっている。為替市場は荒い値動きが続こう。

しかし、FOMC をこなし来週は材料に乏しい。先週の FOMC ではイエレン議長によってハト派トーンが示されたがそもそもハト派とされていたイエレン議長のスタンスは変わっておらず、市場参加者の過度の期待が剥落した程度と見ている。米金融政策の正常化を背景としたドル上昇のシナリオを変える必要はなからう。だが、利上げの時期を巡っては見通しが割れており、その意味で来週の FRB 理事らの講演には注目が集まる。

ブラジルサイドでは、失業率やインフレ指標の発表があるが大きなサプライズはないと予想する。レアル相場はレンジ内取引に終始するだろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department